

# 新文化会館、親子ら見学



建設が進む茨城町文化交流会館の見学会で、階段にメッセージを書く親子連れ＝茨城町小堤

## 茨城町、9月開館

茨城町は1月31日、今年9月の開館を目指して建設を進めている「町文化交流会館」（愛称・いばSUNホール）の見学会を開いた。同町に住む親子ら約30人が、工事中の建物内を探検したほか、大きな外階段に同館への期待や思いなどをメッセージとして記した。

同館は、町民の文化芸術活動を支える新たな施設として、同町小堤の町役場庁舎隣に新設。3階建て延べ床面積約3730平方メートル、客席を収納できる最大計492席のホールや会議室などを整備する。周辺には防災機能を備え

たイベント広場や芝生広場を設置。既存の町役場庁舎と町総合福祉センターゆうゆう館を含めたエリア全体を一つのフィールドに見立て、一体的な空間づくりを進める計画だ。

見学会は「今しかできない、今しか見れない」をテーマ

## 外階段にメッセージ

ーマに、開館前のプレ企画の一環として開催。定員を大幅に上回る約150人の応募があり、抽選で当たった親子らが招待された。

参加者らはヘルメットをかぶり、町職員らの説明を受けながら、建設中の同館内を見学。会議室やカフェの配置を確認したり、ホールに設置予定の座席の座り心地を確かめたりするなど興味深げに見て回った。

また「言葉のタイムカプセル」と題し、屋外イベント広場につながる大階段に直接メッセージを書き込むワークショップも実施。参加者らは完成後の姿を思い浮かべながら、日付とともに「みんな楽しめる施設に」「見学に来たよ」「茨城町これからもよろしくね」などの言葉を残したほか、イラストも描いた。

家族の名前を書いた小学5年の工藤真和さん(11)は「大きな建物が建設されていて興味が出て応募した。新しいホールで大好きなお笑い芸人やアーティストのライブが見てみたい」と笑顔。母親の智恵さん(42)は「近くに大きなホールができてうれしい。多くの人でにぎわう施設になってほしい」と願った。

(朝倉洋)